進 路 指 導 部 通 信

令和６年１０月２１日 No.４
青森県立弘前第一養護学校
進　路　指　導　部

高等部･職員･保護者 校内進路研修会

１０月２日(水)、校内進路研修会がありました。今年度は二部構成とし、第一部は本校高等部生徒を対象に、第二部は本校保護者、本校職員、学校運営協議会委員を対象として行いました。

事業所及び本校卒業生からの講話として、社会福祉法人ほほえみ様からは、就労継続支援Ｂ型事業所「カリフラワー」、生活介護事業所「おらんど」、グループホーム「uni メゾン」について、社会福祉法人弘前久栄会様からは、就労継続支援Ａ型事業所「みのり」について、「かさいさん家の小さな果樹園」様から一般就労について、それぞれの事業所で提供するサービスや、実際にどのようなことを行っているのかについて説明していただきました。

また、「みのり」で働いている令和３年度卒業生の相坂さん、「かさいさん家の小さな果樹園」で働いている令和２年度卒業生の松田さんにも講師として来校していただき、実際にいろいろなお話を伺うことができました。相坂さんからは、クリーニングの仕事の中で「機械が止まってしまうなどの苦労があり、洗濯を畳む際は数え間違いなどがないように気を付けて仕事に取り組んでいる。」といったお話や、松田さんからは、「りんごが大きく育ってうれしい。」「しっかりとりんごの種類を見分けられるようになりたい。」といったお話がありました。各事業所の方からは、学校段階で身に付けてほしいこととして、「挨拶をきちんとすること」「時間を守ること」「一人でできる経験をすること」などが挙げられました。

事業所の方や働く卒業生の先輩から直接お話を聞くことができ、とても貴重で学びの多い研修会となりました。お忙しい時期ではありましたが、ご参加いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

【 研修会講師 紹介 】

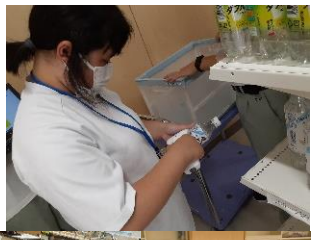
- かさいさん家の小さな果樹園
  代表 葛西康史 氏
  令和2年度卒業生　松田孔俊さん
- 社会福祉法人 弘前久栄会
  就労継続支援A型事業所みのり
  事務局次長 中畑晋 氏
  サービス管理責任者 鈴木順 氏
  令和3年度卒業生　相坂泰喜さん
- 社会福祉法人ほほえみ
  就労継続支援B型事業所カリフラワー、生活介護事業所おらんど、グループホーム uni メゾン
  就労支援課主任　小友正哉 氏
  相談支援事業主任 櫻庭真由美 氏

高等部総合サービス班 作業研修（喫茶）

高等部総合サービス班では、作業学習において、外部専門家をお招きして作業研修を行っています。

8月28日（水）、弘前パークホテルの山谷様と成田様を講師に迎え、喫茶サービスの研修を行いました。プロから食器の扱い方やトレンチ操作などについて適切なアドバイスをいただき、生徒は今後のIcafe 開店へ向けて意欲を高めるよい機会となりました。

中学部3学年 高等部体験入学



9月12日（木）に中学部3年生14名が、高等部体験入学に参加し、それぞれに作業学習を体験しました。

慣れない場所での初めての作業に緊張気味でしたが、高等部の先輩方が優しく丁寧に教えてくれて、スムーズに作業することができていました。

振り返りでは、「楽しかった。」「高等部に行きたい。」という生徒の感想が聞かれ、進学への意欲につながる貴重な体験となりました。

高等部Bグループ 施設見学

9月13日（金）に高等部Bグループ8名が、社会福祉法人七峰会 拓光園グループ 拓光園生活介護事業所まいせるふを見学させていただきました。利用者さんに交じって朝の運動（ラジオ体操やウォーキング）を体験したり、施設職員の説明を聞いたりしました。

現場実習を翌月に控え、1年生にとっては事業所の雰囲気を感じ、2・3年生にとっては、新たな事業所を知るよい機会となりました。

高等部農業班 農業体験実習

9月18日（水）、「農福連携に係る農業体験実習」として弘前市船沢地区の小山内様の園地で、葉取り作業を行いました。

初めての葉取り作業にとまどいながらも農家さんの指導を受けて、葉を取りました。船沢地区の若いりんご農家のみなさんが集まってきて、指導をしてくださったので、生徒も丁寧に教わることができ、充実した体験を積むことができました。慣れてくると「日光が当たるように。りんごが赤くなるように。」と、どんどん作業を進めていき、運搬車の荷台に乗って高い枝の葉取りにも挑戦しました。

農家のみなさんは、生徒の作業に取り組む姿勢を高く評価してくださり、ぜひうちにも来てほしいという声がありました。

NHK NEWS WEB

高等部総合サービス班 地域での清掃活動

今年度初の取組として、高等部校舎から徒歩3分ほどの場所にある、有料老人ホームなごみの里様にご協力いただき、清掃活動を3日間行いました。作業研修などで学んだことを生かしながら窓清掃を中心に、その他草取りなどの環境整備活動を行いました。

終わった後、職員さんの「とても助かります」「またお願いします」という声を聞き、要望があればまた行きたいという生徒がほとんどでした。

今後もこのつながりを大切にし、地域に貢献することで働くことの達成感を味わえるような活動を設定していきます。

高等部 作業体験学習（販売学習）

高等部作業班合同で、9月25日（水）・26日（木）に弘前市役所で作業製品の販売学習を実施しました。今年度は路線バスで往復し、9:50～10:50 の販売時間でした。

1日目は田中副市長はじめ62名、2日目は76名、合計138名のお客様にお買い上げいただきました。昨年度の103名から大幅に増える結果となり、毎年継続することで、本校及び作業製品の認知度が高まっていることを実感することができました。

販売学習には、各班の代表が出かけたため、学校で待っている生徒もどれだけ売れるのか気になっていたようで、1日目の代表者が帰校するなり、「どんな感じだった？」「売れた？」と質問する姿が印象的でした。

実際に出かけた生徒たちは、最初は緊張していた様子でしたが、製品が一つ、また一つと売れていくと自然と笑顔も増え、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」の声も元気に明るく言えるようになり、終盤には「やったー、〇〇全部売れたー」と喜んでいました。

また、会場では、各作業班で実践している SDGs の取組をパネル展示して紹介しました。熱心にご覧になっている方も多くいらっしゃいました。

地域の方々にご協力いただき、生徒の自信や就労への意欲などを高める機会となったほか、地域の方々に本校を知っていただくよい機会となりました。

陸奥新報記事

最低賃金改定

青森県最低賃金が令和6年10月5日から時間額953円になりました。引き上げ額は55円で県内では過去最大です。もちろん、一般就労や就労継続支援A型の賃金にも適用になります。給料が多くもらえることになるので労働者にとっては喜ばしいことである反面、今春、複数の就労継続支援A型事業所の閉所や定員削減があったことからも、同様のことが起こらないか注視していく必要があります。

【青森県最低賃金の推移 ～令和元年以降～】

発効年月日	時間額	引き上げ額
令和元年10月4日	790円	
令和2年10月3日	793円	3円
令和3年10月6日	822円	29円
令和4年10月5日	853円	31円
令和5年10月7日	898円	45円
令和6年10月5日	953円	55円

関係機関情報

高等部校舎近隣の就労サポートひろさき内にあり、一般就労希望者が卒業後お世話になる『津軽障害者就業・生活支援センター』を紹介します。就業と生活の間に“・”（ぽつ）があることから、通称「なかぽつ」と呼ばれています。地域で暮らす障がいのある方に対して、就労面と生活面の一体的な相談や支援を行う機関です。

就職面では、職業準備訓練や職場実習の斡旋、就職活動のサポート、職場定着に向けた支援を行っています。また、障がい特性をふまえた雇用管理についての助言も行っています。

生活面では、生活習慣や金銭管理等日常生活に関する助言、福祉サービスや余暇活動への助言も行っています。

支援は無料で受けられますが、登録が必要です。本校では、高等部3年生の一般就労希望者には登録を勧め、卒業後のスムーズな移行のため、後期現場実習の巡回訪問にも同行していただくことがあります。（在学中は仮登録で、正式な利用は卒業後になります。）

施設情報

就労継続支援A型事業所が新たに開所になりました！

社会福祉法人伸康会 ワークラボ弘前	
所在地	〒036-8051 弘前市宮川3丁目17-7
作業内容	これまで就労継続支援B型を提供していましたが、9月から新たに就労継続支援A型も提供することになりました。 【就労継続支援A型】 ・PC作業（ブログ記事の作成代行、メルカリ等への出品代行、動画作成代行等） ・福祉施設の清掃作業（浴室清掃、トイレ清掃、シンクの清掃等）
就業場所	平成の家（弘前市独狐） ※B型は宮川
定員	20名（現時点では10名募集）
送迎	要相談（送迎ができる場合でもポイント送迎）

★本通信は学校HPでもご覧になれます。カラーで鮮明なデータ版をお楽しみください。